

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○				○			○		○		○

企業の概要

企業・団体名	インプラス株式会社	本社所在地	名古屋市
業種	情報通信業	総従業員数	6
事業概要	コンピュータシステム・ソフトウェアの開発販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規定
テレワーク担当部署	—
テレワーク対象者	全社員(アルバイトを除く)
実施者数	5
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2017年 社内改革の全社会議にて、働き方改善の一案として検討を開始。
厚生労働省の職場意識改善助成金事業を活用してテレワーク制度を導入。
- 2018年 厚生労働省のモデル事業の支援により、四日市サテライトオフィスを開設し障害者2名を現地採用。
「障害者のサテライトオフィス雇用推進マニュアル(厚生労働省)」に当社の事例が掲載。

テレワークの概要・特徴

- ・各自のテレワーク実施日を月2回予定しクラウドの共有カレンダーに記入。
- ・毎日の朝礼および夕礼をWeb会議にて実施。(本社、サテライトオフィス、テレワーク者(自宅等))
- ・VPNにて本社開発ツールに接続、複数メンバーのプログラム開発を管理。
- ・モバイルワークも在宅ワーク同様に行えるよう環境整備。
- ・日頃の情報交換はビジネス向けチャットツールを利用。
- ・社内の共有情報(共有ファイル等)はクラウドストレージに保存。
- ・販売管理、開発スケジュール、顧客管理、経営情報、社内管理情報等もクラウドに設置し、会議等で同時閲覧。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・社員満足度向上により、生産性や品質の向上に寄与していると考えている。
- ・突然の病気(痛風)で通勤が一時的に困難となった社員は、テレワーク環境があったため、緊急的に在宅勤務に切り替え、業務を滞りなく進めることができた。